

大館の歴史散歩

郷土博物館の展示紹介③

幻のつりばり



展示館2階「秋田つりばり」コーナー

秋田つりばり、すなわち大館つりばりは、江戸時代後期に武士の内職として大館で作られはじめた。明治二十六年（一八九三）、シカゴ万国博覧会で絶賛を受け、同二十八年の京都での第四回内国勲業博覧会で優等賞を獲得。宮内省から商標として菊の紋章を許さ

れたが、大正十五年に菊花が皇室の紋と定められたため使用できなくなった。以後、特殊品には月桂樹の葉でつくられた輪の中に「秋田釣鉤」と書き、普通品には桜の花をあしらってきた。

明治後半から昭和初期にかけて販路は全国に広がり、川釣りの大館ものと、海釣りの徳島ものが、全国の手作り製品の中でも著名なものの一つに数えられるようになった。

明治四十年ごろには職人三十八人、年産額一万円以上であった釣り針生産も、やがて機械化が進み大量生産される機械針に押されるようになる。すべて手作りで、量産できない秋田つりばりは、昭和四十年代まで製造を青山武夫さんが、販売を田山浩一さんが受け継ぎ、その伝統を守っていたが、五十年代に入り、その火は消えた。

博物館では、青山さんが生前使っていた道具一式を、また、高橋昭悦さんからもいろいろな秋田つりばりの資料の寄贈を受けて、小さいながらも「秋田つりばりコーナー」を設けています。

手あかできすんだ道具と、今もキラキラと輝き、釣り人であれば一度は試してみたいと思う釣り針をぜひご覧になっていただき、今は幻となってしまった大館の手作りの技を味わってみてはいかがでしょうか。

大館郷土博物館

大館の方言講座

労働に関することば

◆デヤグ・デヤゴ：大工

◆ハシン：針仕事、裁縫

◆パンチヨ：夜回り、夜警

◆ビキカデ：子守り

◆ホニヨ：六尺ほどの棒に、穂先を外に向けて絡ませて、稲を乾燥させるもの

◆マダギ：猟師・狩人、鳥獣の狩猟を業とする人、北秋田地方では阿仁マタギが有名

◆ワツパカ・コマワリ：仕事の割り当て

「大館市史」から

ちびっぴーギャラリー おじいちゃん



加賀谷 恭平ちゃん
いつか比内のおじいちゃんと鬼ごっこして遊ぶんだ。



佐々木 希ちゃん
仙台に連れてって。そうしたら、もっと大好きになるよ。



小坂 湊ちゃん
お仕事だけでなく、たまにはドライブに連れてって。

沼館保育所

おおだてがヒント

クイズ

▽問題

- ①ごみは決められた日の何時までに出すのでしょうか？
- ②台所から出されるごみの水分はおよそ何%から何%？
- ③「大文字ビール」季節出荷される予定数は何本？
- ④今年の成人式。対象者は昭和50年4月2日からいつまでに生まれたかた？
- ⑤郷土博物館の展示紹介の今回のテーマは？

▽応募方法

はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①-②-)を書いてご応募ください。

▽応募先

〒017 大館市字中城20番地
広報おおだてクイズ係

※全問正解者の中から抽選で、多数ご応募ください。

5人に、広報おおだてオリジナルテレカを贈りますの締め切り)

7月25日(木)当日消印有効

▽6月16日号の答え

- ① 5月24日
- ② 15項目
- ③ 10月末日
- ④ 6月24日～29日
- ⑤ 千歯ゴキ(糞採り箱)

▽6月16日号の当選者

- ・山本正子さん(本郷下)
 - ・目時健一さん(茂内屋敷)
 - ・阿部宗子さん(静岡県)
 - ・安部江いさん(餅田1区)
 - ・田口裕子さん(鉄砲場)
- ※応募総数48通、全問正解者12人